

「信濃博物学雑誌」に掲載されたフロラ関係文献目録

「信濃博物学雑誌」は、矢沢米三郎氏の主宰する信濃博物学会の機関誌で、1902（明35）年8月に創刊、1913（大2）年5月発行の第39号をもって終刊となった。収録された記事は、研究や雑録のほかに応問、教授資料などもありなかなか多彩である。ここには、挿図（口絵）・研究・雑録・彙報の中からフロラ関係の記事をひろって、著者名・テーマ・頁の順に示す。△は著者名不祥の記事を表わす。

第1号 1902（明35）年8月15日

挿図 戸隠升麻 第1版（彩色画、正しくは図版）

田中貢一：トガクシショーマ *Yatabea japonica*

Maxim. ニツキテノ研究 12～21

中山音弥：白崩岳採集の記 24～27

田中貢一：信濃ニ於ケル春ノ植物 27～38

第2号 1902（明35）年10月15日

挿図 ひめすみれさいしん 第3版（彩色画）

田中貢一：信濃特有植物（第二）ひめすみれさいしん（姫薺）*Viola Yazawana*, Makino ニツキテノ研究 4～11

K.U.生：ツリフネサウと蜂 21～23

田中貢一：ハケ丘植物採集記 23～36（正しくは、ハケ岳）

K.Tanaka：本縣内植物新種の発見 44～46

△戸隠升麻の新産地 46

△虫取菫菜の新産地 46

K.T.：ハクセンナズナ 48

第3号 1902（明35）年12月15日

挿図 はごろもそう 第6版（彩色画）

矢沢米三郎：みやまぐるま(*Dryas octopetala*, L.)一名長之助草 4～6

田中貢一：信濃特有植物（第三）はごろもそう *Alchemilla vulgaris*, L. に就きての研究 6～9

若菜摘夫：春の七草とは何ぞ 20～21

八木貞助：晩秋の黒姫山 22～25

田中貢一：御嶽植物採集目録 26～30

K.Tanaka：本縣内植物新種ノ発見 37～39

第4号 1903（明36）年4月25日

挿図 ゆきばきんばい 第8版（彩色画）

田中貢一：ゆきばきんばい *Potentilla Matsuokana* Makino 7～10

———：スミレの閉鎖花に於ける受精法 10～13

———：救荒植物 15～22

富岡朝太：伊吹山採集記 27～31

春原平八郎：植物の性態（其1）36～43（正しくは生態）

第5号 1903（明36）年5月25日

挿図 げんじすみれ 第9版（写真）

田中貢一：信濃特有植物（第四）げんじすみれ

Viola variegata, Fisch. var. *niiponica*, Makino に就きての研究 6～10

亀子忠賢：木曾における主要なる針葉樹の種子鑑別法 23

春原平八郎：植物の生態（其二）30～35

矢沢米三郎：たんばぼ（蒲公英）に就きて 36～40

△ 福島安正氏の記念標本 44

△ なんじゃもんじゃの木 45

第6号 1903（明36）年7月15日

挿図 みやまなづな 第12版（線画）

田中貢一：信濃特有植物（第五）深山薺みやまなづな *Draba Sinanensis*, Makino 7～9

春原平八郎：*Cypripedium* の他花受胎に就きて 18～21（正しくは、*Cypripedium*）

———：植物の生態（其三）24～26

△戸隠升麻の災厄 34

△敦盛草 37

△田中八木二氏（高妻山にチャボカラマツ・ユキバキンバイ・ムシトリスミレをとる）37

△エゾノミズタデ *Polygonum amphidium* L. の新産地 37

K.T.：戸隠裏山地獄谷の植物 37

———：同表山八方畹に於て獲らるるもの 38

———：「ムシトリナデシコ」*Silene Armeria*, Linn. と「シロテフ」38

第7号 1903（明36）年10月25日

挿図 くもまきんぼうげ 第13版（線画・彩色画）

挿図 赤石山嶺に於ける高山植物 第14版（写真）

K.Tanaka：The distribution of plants on Mt. Shirouma and Mt. Yurigatake 10～15

田中貢一：信濃特有植物（第六）くもまきんぼうげ *Ranunculus Tanakae*, Makino. Sp. nov. 15～17

倉島賢次郎：鳥帽子ヶ岳植物目録 24～26

春日より生：エソスミレ 26～27（詩作）

△*Hippuris vulgaris*, Linn. の開花及産地 29～30

△水韭の発見 41

△なんばんぎせる 41

△ヒメスミレサイシン 42

△城敷馬氏 43

△白馬嶽探験談 43~44

第8号 1903(明36)年12月25日

K.Tanaka: The distribution of plants on Mt.
Shirouma and Mt. Yarigatake 19~20

田中貢一: 北米の花 — あざみ薊 Thistle (Car-
duus L.) 26~28

折井最一: 白馬岳 28~30

△キバナノハタザオ 48

△フウセンモ 48

△カハモツク 48

△碓氷峠の紅葉 48

第9号 1904(明37)年3月20日

三好学: 信州の地衣 1~3

K.Tanaka: The distribution of plants on Mt.
Shirouma and Mt. Yarigatake 18~21

折井最一: 白馬岳 24~26

春原平八郎: 植物の生態(其四) 34~37

△「ハナノキ」果して本縣に自生するか 41

編輯子: 野花の開花 44

——: 東京だより, 二月十六日 44

第10号 1904(明37)年5月25日

挿図 すきなも 第20版(線画)

田中貢一: 信濃特有植物(承前八) すきなも 間荆
藻 10~14

宮川泉: 植物の体體と其の生態 29~31

△戸隠升麻 38

△戸隠山採集遠足 38

△碓氷の四月 38

第11号 1904(明37)年7月15日

挿図「エゾノミツタデ」第22版(線画)

—— しょうきらん 第23版(線画, 彩色画)

田中貢一: Polygonum amphybium Linn.の三種に
就きて 6~11(正しくは, amphybium)

宮川泉: 植物の種の數に就きて 12~15

方外子: たうこぎ(担把草)に関する世人の迷信
20~22

春原平八郎 植物の生態(其五) 25~27

△師範生の植物採集 33

△「タウコギ」に付きて 33

△敦盛草

△「クモノスシダ」 35

第12号 1904(明37)年10月25日

SO編: 花の研究 4~7

春原平八郎: 植物の生態 22~25(其六に当る)

宮川泉: 森林群落に就きて 25~123

△ヒアフギアヤメ 31~32

△植物新産地の見出 36

△戸隠草 Ranzania Japonica; Ito 36

第13号 1904(明37)年12月25日

挿図 くもりはたざほ 第26版(線画)

—— やりがたけなづな 第27版(線画)

矢沢米三郎: 鍾馗蘭 (Yoania japonica Maxim.)
5~14

田中貢一: 信濃の植物(承前) 7~10 (クモイハ
タザオ・ヤリガタケナズナ)

河野齡蔵: 信濃に関する歴史上の動植物 — しな
のき 13~17

春原平八郎: 植物の生態(其七) 29~32

△新発見 32

第14号 1905(明38)年3月25日

挿図 ひめうめばちさう 第28版(線画)

—— ムジナモ 第29版(線画)

白井光太郎: 「アンペラ」席の原料植物に就て 1~5

矢沢米三郎・田中貢一: 食蟲植物(其一) 5~10

志村寛: ヒメウメバチサウ Parnassia alpicor Ma-
kinoに就きて 17~18(正しくは, alpicola)

河野齡蔵: 信濃における歴史上の動植物 二, とく
さ 19~23

田中貢一: すみれ 26~28

中島総左衛門: 國定教科書中の博物的教材 其一
毒ある植物 28~37

矢崎齋知郎: 油菜につきて 49~52

第15号 1905(明38)年5月20日

挿図 もうせんくさ 第29版(線画, 正しくは, も
うせんぐさ)

矢沢米三郎・田中貢一: 食蟲植物(其二) 8~13

白井光太郎: 「アンペラ」席の原料植物に就て(承
前) 14~17

河野齡蔵: 信濃に於ける歴史上の動植物 三, 園原
の帚木 附. ひのき 17~22

草野藤治郎: 伊吹山植物目録 31~32

春原平八郎: 植物の生態(其八) 38~40

矢崎齋一郎: 松及栗につきて(其一) 40~44

△植物暗葉の自然色保存法 48

△もうせんぐけの極北産地 48

△榛樹の分布と氣候の変化 48

△蟻に寄生する冬蟲夏草 49

△碓氷の春色 51

- △源氏菫 52
 △箒桜 52
 第16号 1905 (明38) 年7月15日
 挿図 むかごゆきのした 第32版 (線画)
 矢沢米三郎・田中貢一：食蟲植物 (其三) 1~8
 田中貢一：すみれ 8~23
 ：信濃の植物 (承前) 23~26 (ニオイタチ
 ツボスミレ, 新種)
 八木貞助：相州三崎附近の植物 46~48
 矢崎齋知郎：松及栗につきて (其二) 55~59
 △「スミレ」の産地 60
 △支那日本の地共に公孫樹の野生なし 61
 △「ニホヒタチツボスミレ」62
 △「ハリセンボン」の産地 65
 △女子師範の郊外教授 65
 △第三十会例会 71~72 (戸隠地方)
 第17号 1905 (明38) 年10月25日
 挿図 ホソバノシバナ 第33版 (彩色画)
 ムシトリスミレ 第34版 (写真)
 矢沢米三郎：「ホソバノシバナ」*Triglochin Palustris* L. (正しくは, *palustre*) 1~2
 ——・田中貢一：食蟲植物 (其四) 2~9
 八木貞助：仙臺地方の埋木に就きて 15~18
 矢崎齋知郎：柿につきて 38~42
 △「ムシトリスミレ」45
 △神代桜 45
 △有毒草の発見 48 (ドクミギ)
 △在松本信濃博物学会員 48 (ナガハノイシモチソウ)
 △台湾有用植物調査 49
 △黒姫山の稀品 50 (オサバグサなど5種)
 △鉾物採集旅行中の植物採集 50 (上州のイノモ
 トソウなど5種)
 △三十二回例会 54~55 (黒姫山方面)
 第18号 1905 (明38) 年12月25日
 挿図 高嶺毛茛 第35版 (彩色画)
 ——硫黄岳舊噴火孔第36版 (写真)
 矢沢米三郎：たかねきんぽうげ *Ranunculus sul-*
phureus Sol. var. *altaicus* Trautv. 1~2
 小田四十一：応用植物 2~6
 八木生：東北雜観 10~12
 倉島賢次郎：四阿山附近の植物 12~17
 春原平八郎：植物の生態 (其九) 28~30
 △はぎの葉の重複状貌 35
 △竹の開花 36 (マダケなど至るところで開花)
 第19号 1906 (明39) 年3月20日
 挿図 つくもぐさ 第37版 (彩色画)
 小田四十一：応用植物 (承前) 4~8
 田中貢一：那産はんのき科植物目録 8~12
 雪州山人：春の七草 19~20
 上条けさ枝：有毒植物 (其一) 29~30
 △ツクモグサ 47
 第20号 1906 (明39) 年6月20日
 小田四十一：応用植物 (承前) 11~17
 藤旗甚七：穂高岳附近採集植物目録 17~18
 日向保良：藍につきて 25~28
 △本縣産新植物命名 (牧野富太郎氏) 36 (シロウマ
 オウギ・タイツリオウギ・オクヤマワラビ・ミヤ
 マニガウリ)
 △戸隠升麻 38 (栽培株4月20日頃より開花)
 △櫻の話 (伊藤博士談) 40
 △普通植物の用途につきて 42
 △最長の日本語を有する植物 44 (アマモの別名)
 △冬の七草 45
 第21号 1906 (明39) 年7月15日
 挿図 鎗ヶ岳 第42版 (写真)
 小田四十一：応用植物 (承前) 3~9
 △長野縣師範学校の動植物陳列 27~29
 △じゃにんじん, はいはまぼっす, えぞむらさき
 29 (飯綱原東部)
 △第三十六回例会 41~42 (戸隠方面)
 第22号 1906 (明39) 年11月25日
 挿図 鎗ヶ岳絶頂 第44版 (写真)
 矢沢米三郎：トガクシデンダ *Woodsia Yazawai*
Makino 1~2
 小田四十一：応用植物 (承前) 12~18
 矢崎齋知郎：南安曇郡産物 (山蕎麥, 及梨子) に就
 て 21~23
 上伊那箕輪生：上伊那の鶯竹 23~24
 蛟雪生：昆布 30~34
 △恵那山植物 41
 細野浩三：虫取菫菜の新産地 42 (岩簾山)
 ：車軸草 42 (上水内郡若槻村三才)
 △岩簾山の植物 43~44
 上野生：水晶蘭 44
 ：白馬雜感 44~
 第23号 1907 (明40) 年3月25日
 挿図 ハケ岳の牡観 第46版 (写真)
 小田四十一：応用植物 (承前) 11~14
 △植物新産地 32 (植物学雑誌より, ハイキンボウ
 ゲ・ムジナモ・タイキンギク)
 △「リンネサウ」の一新産地32 (植物学雑誌より)
 △ハケ岳の牡観 42

第24号 1907(明40)年5月25日

挿図 戸隠升麻一名戸隠草 第47版(彩色画)

小田四十一: 応用植物(其六) 5~9

矢沢米三郎: ハケ岳連峰に就て 9~13

△博物と俗諺 第一報~第十報 34~36

△アカネスミレ 37

△戸隠草の開花 37

△「ヒカゲツヅ」37(山清路・差切新道)

△露と秋 44

△ノボロギク 44 (諏訪・東筑・南佐久にわずか)

第25号 1907(明40)年7月25日

挿図 黄花敦盛草 第50版(線画)

徳久三種: 日光中宮湖に於ける浮(プランクトン)の分布に就て 1~4

小田四十一: 応用植物(其七) 9~13

△「コタヌキモ」経冬法 32

△天気を予報する草 39~40(アブルス・ブレカトリウス)

△高橋八木二氏の戸隠行 46(トガクシショウマ・ニシキゴロモ・サワハコベ・タチハコベ・イトハコベ)

△博物と俚諺 第一信~第六信 47~49

第26号 1907(明40)年10月25日

挿図 くろはなへうたんぼく 第51版(彩色画)

矢沢米三郎: クロハナヘウタンボク 1~2

中洲學人: ハケ岳に於ける新発見新命名及新採集植物 5~8

小田四十一: 応用植物(其八) 8~10

八木貞助: 博物雑誌 10~13

原周司: 諏訪郡多留姫神社境内の植物に就て 13~14

TS生: 蓮の研究 14~16

信濃博物学会: 本会主催高山植物採習会実況(其一) 16~21(正しくは、採集会)

高山植物採集一會員: ハケ岳主要植物目録 21~24

新村丞輔: 秋の七草に就て(其一) 25~29

篠原正作: 禾本科及び莎草科の特徴並に異動 29~31

△くさばけ採集 48

△松本に於ける博物学会員の採集旅行 49(袴越~鳥帽子岳, キバナノアツモリソウ, リンネソウなど7点)

△「ヒメミズニラ」の新産地 49(東筑・塩尻村)

第27号 1907(明40)年12月25日

小田四十一: 応用植物(其九) 18~22

信濃博物学会: 本会主催高山植物採集会実況(其二)

22~27

新村丞輔: 秋の七草に於て(其二) 34~38

△当地の紅葉 44~45

第28号 1908(明41)年3月25日

市村塘: 生活力の範囲 8~11

小田四十一: 応用植物(其九) 11~14

藤旗基七: ひなすみれ *Viola Takedana* Makino 14~16

笹岡義一: 梅 17~23

△縣下に見たる紅雪に就て 30~31

△自生「ツクヌキノウ」の新発見 44

第29号 1908(明41)年5月25日

挿図 はりぶき 第57版(彩色画)

—— 日本アルプの峯巒 第58版(写真, 槍ヶ岳山頂より南方)

小田四十一: 応用植物(其十) 5~12

渡辺敏: 梓に就て 12~14

河野齡蔵: 博物雑誌 17~18

遊座武夫: 葉の変態 19~22

第30号 1908(明41)年7月25日

挿図 イハギキョウ・チシマギキョウ 第59版(彩色画)

△白馬岳(Alpine region)産植物目録 10~16

山本とし: 煙草 17~19

松沢さち: 植物香の美 19~21

△ツクヌキノウの第三新産地 29(守屋岳)

△諏訪の「スミレ」二三 29~30

△第五十二回例会記事 49~50(戸隠方面)

第31号 1908(明41)年10月25日

挿図 キヌガササウ 第61版(彩色画)

—— “ 第62版(群落写真)

飯柴永吉: 信濃の蘚 5~7

吉沢生: 蕨(*Pteridium aquilinum*) 10~14

荻原敏: 土筆の観察 19~22

△新植物 23(白馬岳, イワテトウキ・ハクサンオオバコ・ホザキイチヨウラン)

△白馬岳に於ける戸隠升麻 23

△釜無山の新発見植物 23(ピランジ・ヒメハナワラビ・クモマナズナ・コイワザクラ・ミヤマコウリンカ・シナノナデシコ・オニク・ウサギシダ・ウサギギク・トガクシデンダ)

△布袋蘭の発見 25(ハケ岳)

△恵那山の植物 28~29

△第五十三回例会記事 48~49(戸隠~黒姫採集会)

第32号 1908(明41)年12月25日

市村塘: 日本産禾本科植物属種各検索表 3~10

(抄録) 機樹の種類に於て 18~20 (理学界)
 (——) 高山植物の形態 20~22 (植物学雑誌)
 (——) 諏訪産夏季の草菌類 22~24 (植物学雑誌)
 原才太郎: 植物形態の系統的発達 28~31
 八木貞助: 信濃に於ける生物のくさぐさ 31~32
 篠原正作: ハナヤスリとアキノハナワラビとの比較
 研究
 笹岡義一: 落葉に就て 38~40
 千野光茂: モウセングサと昆虫 43
 第33号 1909 (明42) 年5月10日
 安田篤: 虫類を捕獲する苔類に就て 1~2
 市村塘: 日本産禾本科植物属種名検索表 (承前) 7
 ~13
 (抄録) 諏訪産夏季草菌類 (二) 16~18 (植物学雑誌)
 (——) 台湾山地植物帯の地理的關係に就て 19~
 21 (植物学雑誌)
 川村清一: みみぶさたけ (新称) *Wynnea macrotis*
Beck. に就て 25~26
 小田四十一: 応用植物 (其十一) 26~29
 八木貞助: 信濃に於ける生物のくさぐさ (承前)
 29~30
 篠原正作: 蘭科につきて 32~34
 知野秀雄: 焼山登山の記 34~37
 西尾生: 木曽の御料林 38
 八峰生: 花粉の媒介 38~39
 MC生: タンポポ (蒲公英)
 △新植物の発見 42. (原周司, ハケ岳でニオイシダ
 ・チシマセンブリ)
 △「フデキ」42 (小県郡境尻村)
 第34号 1909 (明42) 年10月15日
 挿図 オホメタカラコウ 第68版 (写真)
 市村塘: 日本産禾本科植物属種名検索表 (承前) 5
 ~9
 小田四十一: 応用植物 (其十二) 14~17
 八木貞助: 信濃に於ける生物のくさぐさ (承前) 17
 ~18
 飯柴永吉: 信濃の蘚 (其二) 18~20
 (抄録) 日本産ひめつちぐり属 *Geaster* について
 22 (植物学雑誌)
 △新称カマナシシモツケ 29
 △新称カマナシギンロバイ 29
 △河野齡蔵氏の駒ヶ岳採集 29~30
 △五十六回例会記事 (戸隠地方に採集旅行) 34
 第35号 1911 (明44) 年7月15日
 挿図 月夜茸 第70版 (彩色画)

八木貞助: 信濃産草菌類 1~6
 市村塘: 日本産禾本科植物属種名検索表 (承前)
 6~13
 河西省吾: 妙高紀行 14~22
 (抄録) 信州に発見されしタデスミレ *Viola Thi*
baudieri Franch. et Sav. 26~27 (植物学雑誌23号)
 西尾実: 菊 37~38
 第36号 1911 (明44) 年12月15日
 挿図 小卵天狗茸 第72版 (写真)
 矢沢米三郎: 博物学上に於ける信州 1
 八木貞助: 信濃産草菌類 (二) 5~7
 矢沢米三郎: 日本アルプス (上) 13~20
 PT生: 本県に於ける主要高山植物発見年表 20~
 21
 △本会主催高山植物採集会紀要 合 信州ハケ岳主
 要植物目録 21~26
 第37号 1912 (明45) 年3月15日
 挿図 天狗茸 第74版 (彩色画)
 八木貞助: 信濃産草菌類 (其三) 8~10
 矢沢米三郎: 日本アルプス (中) 12~16
 (抄録) カラタチの北方分布に就いて 24 (植物学
 雑誌300号)
 △ノデシャの燐化 33
 △名木の枯死 33 (南佐久郡大沢村ハリモミ)
 第38号 1912 (明45) 年5月15日
 挿図 白根蕨 第76版 (彩色図)
 —— 辛初茸 第77版 (写真)
 松村任三: 信濃の国名と水藨の植物名との語源考
 4~7
 三好学: 多形地衣属「クラドニア」に就て 10~11
 八木貞助: 信濃産草菌類 (其四) 20~22
 河野齡蔵: 高山植物 25~26 (シラネアオイ)
 安田篤: 蟻植物の話 26~29
 志村烏嶺: 二三の高山植物に就きて 37~39
 (抄録) JC生: 櫻に関する諸説 56~57
 第39号 1913 (大2) 年5月5日
 挿図 こまくさ 第78版 (彩色画)
 河野齡蔵: 高山植物 8~9 (コマクサ)
 伊藤篤太郎談: 絶滅に近き動植物 23~25
 田沢正義: 昆虫を誘うて花粉を授受する花 32~34
 (清水建美)